



図書館報

2023 SUMMER No.62

SEASON



写真：初夏の創価大学

ISSN 1349-3760

2 コラム「下町の図書館で働いた思い出」
学士課程教育機構 上原正樹 准教授

4 特集「中央図書館には
仲間と学ぶ場所がある」

7 ミニコーナー ある図書館の日常

8 図書館掲示板

私は浪人や留年を重ね、同級生より少し周回遅れの青春時代でしたが、幸いにも1986年に東京都特別区の公務員として社会人生活をスタートさせることができました。最初の配属先は大田区教育委員会、JR大森駅近くの区立図書館が勤務先となり、私はここで4年半、十数人の司書さんと共に図書館職員として働くことになりました。

東京の下町の図書館は、大学や研究所のアカデミックな色合いとは違い、地域住民の生活の一部であり、庶民文化を下支えする皆の拠り所でした。そしてこの時代、業務の全ては人の知識と知恵と手と心によって行われていました。

1 どんな本を並べるか

JR大森駅を挟んだ東西の住民層は正反対で、東側には有名な「森ヶ崎海岸」があり戦前は海苔の養殖業、戦後は京浜工業地帯を支える中小製造業が集積する活気ある地域です。一方西側は、川端康成、北原白秋、山本周五郎、三島由紀夫、川瀬巴水など多くの文人や芸術家が暮らした「馬込文士村」として知られる閑静な高級住宅街です。

そのような地域住民が読みたい図書は、どのように選定すべきでしょうか。職員たちは、分野別の最新資料や各種の書評を参考にしていましたが、何と云っても窓口で寄せられる「リクエストカード」を最優先にして、皆さんの希望に応じていました。限りある予算を1円単位までやりくりして、1冊でも多く「町で読み回される図書」

を選ぼうと意気込んでいました。

2 全部ヒットが行う資料検索

昭和の終わりの話ですから、現在のようには図書館にパソコンはありません。ITやAIなど使用しませんから、レファレンス（図書や資料に関する問い合わせの対応）は「すべて職員の実力次第」です。私も初めから担当させられ、まさに経験こそが実力だと痛感します。

当時は、入荷した図書を分類してからブックマークをして書架に陳列するまで全作業を職員自身が行いました。さらに年1回の曝書（ばくしょ）作業（図書資料の棚卸と整理）を経験すると、図書の分類や歴史やその評価まで学習できました。やがて、私も徐々に実力をつけて、レファレンスの腕を上げ、小学生の夏休み研究の相談や地域の歴史編纂家のお手伝いまで出来るようになりました。

ITが存在しない昔の図書館業務は、司書など職員が担っていましたが、全てIT検索となった現在の区立図書館には専門家はほとんどいない時代となりました。館長と庶務担当が自治体職員で、その他は非常勤職員というのが一般的となりました。

3 地元のイベントも工夫して

地域の公立図書館は、毎週行う子ども図書室での「読み聞かせ会」や夏休み中の「こども映画会」、社会人向けの講演会や映画会なども開催しました。個人的に良かったのは、絵本の読み聞かせは、後になって自分の子育てに大いに役立ちました。さらに、私は英語好きであったので「洋画字幕の翻



訳家」の講演会と映画会とをセットにして連続企画を実施したところ、年齢や地域を超えて多くの映画ファンが参加してくれました。この間、貴重な洋画字幕のプロの極意を学び、これぞ「役得」の仕事となりました。

その他、毎月「図書館だより」に特集記事を執筆するなど、今改めて思うと学生時代の延長のような充実の文化活動の時代だったと大変に恐縮してしまいます。

4 招かれざる来館者

しかし、公務員として給料をもらうお仕事、楽しいことばかりではありませんでした。それは、別の目的で来館する人々への対応でした。落書きや備品の破壊など館内でいたずらする中学生、時間つぶしに来る悪臭を放つホームレス、世の中すべてに苦情をぶちまけるクレーマーなど、多種多様な招かれざる人々です。それぞれ人生の背景があり、困難な状況に置かれているとは理解できても、一般利用者にとっては厄介者でしかありません。

公立図書館の職員としては、排除も含めた解決が使命ですので、心を鬼にして対応

するプレッシャーはかなりきつかったことを思い出します。それでも、修羅場が重なり、徐々に騒動のご当人の事情も分かって来ると、事務的な塩対応をしなくとも対話ができるようになりました。不思議なことに距離感が縮むと、自分から「図書館の人に迷惑をかけたくない」と言い出して、やがて来なくなりました。この経験は、胆力を養う大切な修行となりました。

「人に歴史あり。」その後、私は大田区の中小製造業のビジネスを国内・海外に拡大させる支援がライフワークとなりました。退職まで約30年間、産業分野一筋の公務員人生となり、これが創価大学の教員となるキャリア形成につながりました。お陰様で、図書館時代に養った「ものごとを冷静に分類・分析。現場を重視。結果が出るまで再挑戦。」という生き方はとても役に立っています。

以上

（当時勤務したのは、旧・大田区立入新井図書館。2005年6月30日に閉館。現在、大森駅に近い大森複合施設ビル（Luz大森）内に移築オープン。）

中央図書館には 仲間と学ぶ場所がある

大学生活で仲間と一緒に学ぶのは大切な時間。でも、図書館での会話はNGだし……。いえいえ、ゼミやグループで学習したり、自由に会話ができる場所が図書館にもあるのです。

1階 ラーニング・コモンズ



ラーニング・コモンズは、学生の主体的な学習を支援する空間として設置され、解放的なオープンスペースで学習ができます。

テーブルや椅子を動かすことで、学びやすい空間を自由にレイアウトすることも可能です。

ミーティング・スポット（赤）をグループで利用する際は予約が必要です。

設備

ホワイトボード
Whiteboard

ご自由にご利用ください



プロジェクター
projector

利用には申請が必要です。
利用申請の際、カウンターにお申し出ください。

デスクトップパソコン
Desktop PC

グループ学習室に1台設置されています。

利用について別途申請は不要です。



4階 グループ学習室A



ラーニング・コモンズ同様、グループでの利用を目的とした部屋です。集中して学習したい方々にはグループ学習室がおススメ。

個室になっており、大人数での利用が可能です。

利用方法

利用申請

中央図書館1階カウンターにて利用日と時間をお申し出ください。希望日が空いていれば申請書をお渡しします。

原則として利用日の2週間前から前日までに申請してください。当日利用したい場合は、空いていれば当日申請も可能です。

同一グループの利用は、1日あたり最長5時間（1日の分割は最大2回まで）、
暦週に最大3日まで予約ができます。

利用日当日の手続き

申請者は、中央図書館1階カウンターに学生証と許可証を提出してください。

申請者本人に長期延滞中（8日以上）の未返却図書がある場合は、利用できませんのでご注意ください。

図書館を使いこなせ 充実！ Campus Life



1階 ガイダンスルーム

4月より利用が再開されました！

1階入り口ゲートを入り、右手奥のガラス張りの一室がガイダンスルームです。授業などでも利用されるガイダンスルーム。使用予定のない時間は、図書館4階同様、パソコンを利用することができます。プリンタが室内に設置されていますので、ガイダンスルーム内のパソコンからも印刷が可能です。



2階 ブラウジングルーム



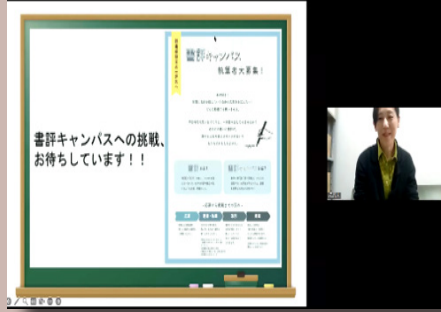
飲食の
4月より利用が再開されました！



図書館内では唯一、携帯電話での通話や飲食が可能なスペースです。自習はもちろん、グループでの会話をしながらの学習も可能です。また、学生が授業の合間などに、安心してオンラインの企業説明会や面接試験に参加できるよう、面接ブースが設置されています。こちらの利用には予約が必要です。大きな窓で解放感あふれる室内には、ファッション雑誌等、多数雑誌が配架されており、一息つきたいときの憩いの場としてご利用ください。室内に自動販売機も設置されています。

オンラインイベント 開催

5月10日(水)、書評専門誌である「週刊読書人」の副編集長・角南範子氏を講師にお迎えし、「プロに学ぶ『書評』の書き方講座」をオンライン(ZOOM)で開催しました。



参加者の声

新しい視点を見つけることができ、とても良い経験となりました。

短い時間の中で、普段聞けないような専門的なことを聞くことができ、大変勉強になりました。

通教 夏期スク 図書館かわら版

通学課程の学生と同様に、通信教育部で学ぶ皆さまも本学の中央図書館を利用できます。通信教育部ウェブサイトの「夏期スクーリング特設サイト2023」内に、「中央図書館の利用について」のご案内がございます。

※入館時や貸出等、図書館の各サービスを利用するには学生証が必要です。



図書館での インターネット環境

通信教育部に在学期間中は、大学キャンパス内においてインターネット(学内Wi-Fi)に無料で接続できます。詳しい接続方法は、通教事務室にお問い合わせください。

※通信教育部の学生は、中央図書館内の備え付けのパソコンや各種データベースは利用できません。



ある図書館の日常

Soka University Library
Daily News

Soka Reading Project (SRP)とは、創立者が提唱される「活字文化復興」を実現すべく、全学読書運動Soka Book Wave (SBW)を推進していく有志団体です。4月にSRPメンバーが集まり、2023年度の活動を開始しました！春学期は展示チームと読書会チームに分かれ、主に毎週水曜日の放課後に活動しています。

SRP 本格始動

この人たちに 聞きました

(展示の前で)

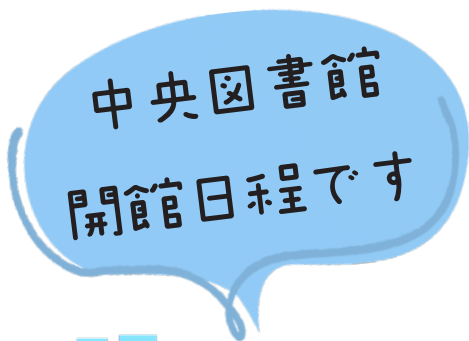


※展示チーム
毎月、SBW 推薦図書コーナーに様々なジャンルの本を展示しています。「展示した本が貸出されると、とてもうれしくてやりがいを感じます。」

(準備中の様子)



※読書会チーム
7月5日(水)に読書会「Be friends through books! ~本を通して友達になろう!~」を行いました。「SRPの活動を通して、これまでよりも読書や図書館の存在が身近になりました。」



8:30~21:00

10:00~17:00

9:00~21:00

休館

7月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

8月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

9月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

書庫利用講習会のお知らせ

2023年度秋学期は、9、10、11、12月の予定で「書庫利用講習会」を開催いたします。中央図書館の書庫を利用する入庫資格を希望される方は、この講習会を受講してください。池田文庫をはじめ、貴重な資料と出会える機会です。一度受講すると、入庫資格は在籍期間中（卒業まで）有効です。開催日時、申込方法などの詳しい情報は、図書館ウェブサイトにてお知らせいたします。

夏休み長期貸出のお知らせ

大学の夏季休業に伴い、図書の長期貸出が始まっています。この機会にぜひ、たくさんの本に出会ってください。

学部生・別科生・短大生：2週間貸出者

7月18日（火）～8月29日（火）

教職員・大学院生・通教生：4週間貸出者

7月18日（火）～8月15日（火）

一斉返却日：2023年9月13日（水）